



HOKKAIDO
UNIVERSITY

Nitobe College

新渡戸カレッジ 学部教育コース
Nitobe College for Undergraduate Students

目指せ！北大発グローバルリーダー



お問い合わせ先

北海道大学 学務部教育推進課

新渡戸カレッジ推進事務室 新渡戸カレッジ担当(学部)

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

Tel. 011-706-5414/5135

Mail nitobe-college@academic.hokudai.ac.jp

Web <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>



「光」は「北」から、
「北」から「世界」へ



新渡戸カレッジ校長であり、北海道大学総長の寶金清博です。北海道大学へ興味を持っていただき、心から感謝申し上げます。

2020年当初から、私達の当たり前の日常が大きく揺らいでいます。コロナ禍の中で、国際化、国境を越えた人と人との繋がりは、大きな試練の時期を迎えています。皆さんに向けたメッセージを書いているこの時期においても、コロナ禍は、第三波の最中にあり、出口はまだ、見えません。

しかし、いずれ、私達は、この試練を乗り越え、さらに力強い人と人との絆を取り戻すと確信しています。暗闇の中だからこそ、「光」がはっきりと見えるものです。このコロナ禍の中でも、人と人は国境を越えて繋がりを求めるものであり、オンラインなどの新しい日常「ニューノーマル」を築いて、「光」の繋がりを一層強めています。

新渡戸カレッジは、国際的な感性を持った豊かな人間性をはぐくむための学部横断的な特別教育プログラムです。北海道大学の教育プログラムの中でも、異彩を放つものであり、これまで、高い評価を得てきました。このコロナ禍の暗闇の中だからこそ、「光」を放つ独創的な教育プログラムです。

本カレッジ名の由来である新渡戸稲造は、豊かな精神性と真摯な活動により、本学の目指す「全人教育」の規範となる大先輩です。このカレッジを構想するにあたり、本学は新渡戸稲造の精神を三つにまとめました。それは、第一に「深い倫理性に基づいた品位ある自律的な個人の育成」、第二に「日本人としての自覚を持

ちつつ、偏狭な排外主義に陥らない国際精神の涵養」、第三に「互いに国籍の区別を設けなくて親しく交わる国際的教育的組織」です。

新渡戸稲造は、本学の前身である札幌農学校の第2期生であり、また、教員として札幌農学校に11年間在籍しました。国際連盟事務次長を務めるなど近代日本きっての国際人であると同時に、「武士道」をはじめとする数多くの著作を発表した文筆家でもあります。この新渡戸稲造の活動のように、高い精神性と異文化理解、コミュニケーション能力を身につけた人材を数多く輩出することが、総合大学としての本学の使命と考えて、2013年4月、北海道大学は、新たな学士課程プログラム「新渡戸カレッジ」を創設しました。

新渡戸カレッジの特色の一つは、すでに社会で活躍されている国際経験豊かな本学同窓生等に、カレッジ副校長やフェローとして協力いただき、新渡戸カレッジ生の学修やキャリア設計を支援して頂いております。これは、日本の大学でははじめての試みです。カレッジ生の皆さんは、フェローの方々の貴重な経験や知見を学び、積極的に活用されることを期待します。

本学のホームページの総長メッセージでも、私は、「光」は「北」から、「北」から「世界」へという表現を使っています。「光」は、皆さん一人一人が持つ「夢」だと思います。その小さな「光」を集め、大きなまばゆい光の束となって、「世界」に届けるために、是非、新渡戸カレッジで学んでください。新渡戸カレッジは、必ず、皆さんの期待に応えるはず です。

北海道大学総長 / 新渡戸カレッジ校長
寶金 清博

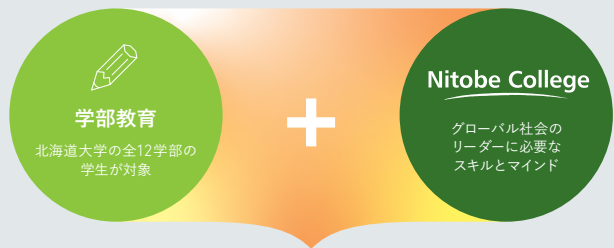


北大「新渡戸カレッジ」とは



各学部での教育にプラスして、グローバル社会で活躍するために必要なスキルとマインドを身につけるプログラムです。

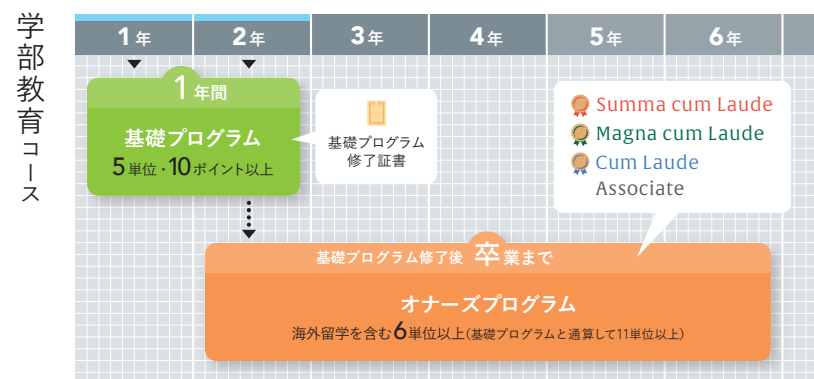
北海道大学12学部の全ての学生を対象とした学部横断的教育カリキュラムです。



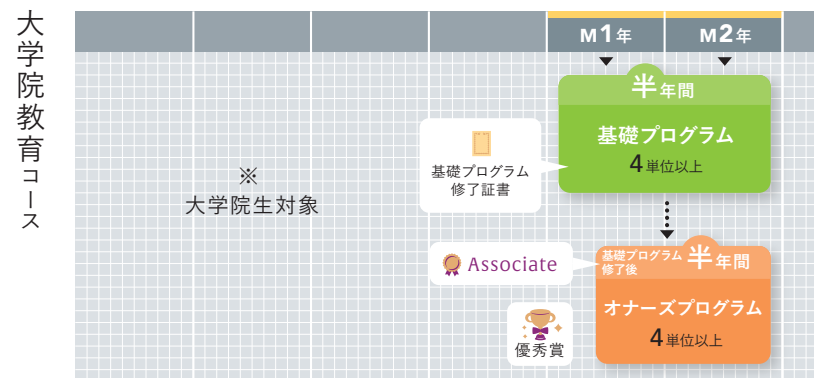
グローバル社会で活躍できるリーダーに!



新渡戸カレッジの入校と修了



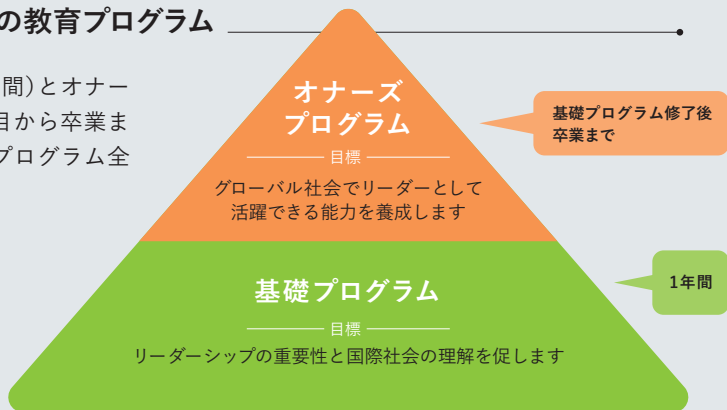
※学部教育コース在籍中に大学院教育コースの科目を学ぶことのできる早期履修制度があります。



新渡戸カレッジ学部教育コースの特長

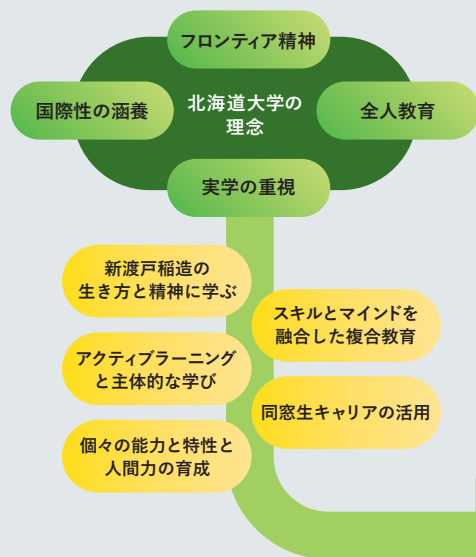
1 グローバルリーダーを育成する 2段階の教育プログラム

基礎プログラム(1年間)とオナーズプログラム(2年目から卒業まで)の、2段階によりプログラム全体を構成します。



2 リーダーシップに必要なスキルと マインドを育む独自のカリキュラム

「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」および「実学の重視」という北海道大学の4つの基本理念に加え、新渡戸カレッジ生の「リーダーシップ力」を涵養するために、次の5つの方針の教育を行います。



3 自律的な個人の確立と 専門能力を高める留学制度

p.9

海外において高い倫理観と豊かな人間性をもった自律的な個人の確立、論理的な思考力と高い専門性を身につけることを目的とした多様な留学プログラムを提供します。また、各種奨学金制度により渡航費や留学中の生活費を支援します。



4 国際経験の豊かな同窓生等からなる フェローによるキャリア支援

p.10 / p.13

フェローとの出会いを通して、新渡戸カレッジ生は、人生の意味、大学で学ぶことの意義を考え、自己省察する機会が得られます。社会経験、人生経験豊かなフェローと身近に接し対話することで、カレッジ生は、視野を広げ、世界が直面する諸課題を身近なものとしてとらえる力を鍛えると同時に、やる気を高め、将来の人生設計(キャリアデザイン)の検討への第一歩を踏み出すことができるでしょう。



1年間

新渡戸カレッジ 学部教育コース 基礎プログラム

入校要件

新渡戸カレッジでは、2段階方式で入校生を決定します。

1段階

4月
仮入校

- ✓ 2022年度に入学した学部学生
- ✓ 新渡戸カレッジ入校の志望理由書を審査し選抜



2022年度より、応募に当っては、大学入学共通テストの「英語」(リーディング・リスニング)の成績提出が必要になりました。今年9月の大学入学共通テスト出願時に、あらかじめ成績通知書の申し込みが必要ですので、忘れずに手続きしてください。

2段階

9月
正式入校

- ✓ 一定レベルの英語能力
(TOEFL-iBT61点=TOEFL-ITP500点以上相当)
と所定の単位及びポイントを取得



修了要件

基礎プログラムにおいて、所定の単位と新渡戸カレッジポイントを取得した者には「新渡戸カレッジ基礎プログラム学部教育コース修了証書」を授与します。

基礎プログラム学部教育コースの必修科目



グローバル
基礎科目

- ▶ 留学を、自分の目指す学びや研究を実現させるための手段として位置づけ、計画をたてる「国際理解と海外留学」
- ▶ リーダーのあり方や必要な資質などについてグループワークによる実践を通して考える「リーダーシップとチームワーク」



EN
留学支援
英語

- ▶ 英語を母語とする講師による少人数クラスによる実践英語
- ▶ 英語によるコミュニケーション能力の向上
- ▶ 留学時に必要なアカデミックスキルの修得



新渡戸学
(フェローゼミ)

- ▶ フェローの主導により現地視察の中から課題を発見しグループワークにより課題解決方法を探る演習
現地視察の例～町村農場(江別市)



授業科目	単位	修了要件	修了に必要な単位数
EN 留学支援英語	2	必修	2単位以上 留学支援英語2単位は必修
海外短期語学研修	2	選択	
国際交流科目	1又は2	選択	
日本文化・社会に関する理解増進科目	1又は2	選択	3単位以上 グローバル基礎科目、 新渡戸学(フェローゼミ) 合計3単位は必修
🌐 グローバル基礎科目(国際理解と海外留学)	1	必修	
🌐 グローバル基礎科目(リーダーシップとチームワーク)	1	必修	
🕒 新渡戸学(フェローゼミ)	1	必修	
フィールド型演習	2	選択	
多文化交流科目	2	選択	
大学と社会	1	選択	
グローバル・キャリア・デザイン	2	選択	

基礎プログラム修了後 **卒業**まで

新渡戸カレッジ 学部教育コース オーナーズプログラム

海外留学

新渡戸カレッジの海外留学には長期留学プログラム(交換留学)と短期留学プログラムの2種類があります。新渡戸カレッジでは「海外留学」として、長期留学(交換留学)を奨励しています。ただし、所属する学部・学科カリキュラムの関係上、長期留学が困難な場合においても、さまざまな短期留学プログラムを提供しています。また、北海道大学では各種奨学金制度を設けており、渡航費や留学中の生活費を支援します。



長期留学プログラム (交換留学) ✈️

交換留学は、北海道大学の交流協定大学(およそ50の国と地域250あまりの大学等)に1年未満留学する制度です。留学先で取得した専門科目の単位が、所属部局が認める範囲内で設定されます。

短期留学プログラム ✈️

◎短期留学スペシャルプログラム

海外の協定大学等において、英語で開講される授業や実習等を通して、より専門性の高い科目を学ぶプログラムです。

◎学部専門レベル短期留学

学部等が独自に開発し、単位認定している短期留学プログラムです。詳細は、所属する学部等でお問い合わせください。

◎国際インターンシップ

海外における企業等での研修を通して総合的な人間力を培う実践的キャリア教育プログラムです。



対話プログラム

社会人との一対一の対話によるメンタリング・プログラム

- ▶ 学生が、フェローの国際感覚や経験に触れ、考える力・行動力・チームワーク力・人間性などを高めることを目的に、年数回実施します。
- ▶ 毎回、学生が将来や進路など自分が設定したテーマについて希望のフェローと話し、助言を受けてさらに考え、行動につなげるという形で進めます。
- ▶ 参加を通して、多様な考え方を学び、大学生活、進路、人生、自分自身など新たな視点から捉えることができた、視野がひろがったなどの報告があります。



修了要件

卒業時、新渡戸カレッジ科目11単位以上、TOEFL-iBT80点以上、成績上位50%以内の全てを満たした修了生には、英語と学部教育の成績により、以下の3段階の称号を付与します。



新渡戸カレッジ
Summa cum Laude
(= with highest honor)

TOEFL-iBT100点以上、
所属学部学科等における通算GPA(成績)が
上位15%以内



新渡戸カレッジ
Magna cum Laude
(= with great honor)

TOEFL-iBT90点以上、
所属学部学科等における通算GPA(成績)が
上位30%以内



新渡戸カレッジ
Cum Laude
(= with honor)

TOEFL-iBT80点以上、
所属学部学科等における通算GPA(成績)が
上位50%以内

先輩たちの新渡戸カレッジ体験談



文学部4年 藤間 謙太郎さん

留学先 オランダのアムステルダム

私は8ヶ月間、オランダのアムステルダム自由大学に交換留学しました。入学当初から留学に行きたいと考えていたため、複数の新渡戸カレッジの科目を履修し留学に向けて準備をしていました。現地ではグループワークの履修、ボランティアへの

参加、多国籍な留学生との寮生活などを通じ、価値観や文化的な背景の異なる人と広く交流することができました。月並みな表現ですが、こうした経験から自分の価値観や人間としての幅を広げ、特定の価値基準や自分自身の枠を超えることができ、非常に有意義な体験ができたと考えています。留学経験は間違いなくプラスになります。少しでも興味があるなら、ぜひチャレンジしてみてください。現地でサポートしています！



北大を目指すみなさん、刺激的な体験と仲間が待っています！



理学部4年 石川 結女さん

留学先 オンライン留学

私は春休みに、北米地域の3大学と協定したオンライン留学に参加しました。コロナ禍のため留学なのにオンラインで実施というのは衝撃的でしたが、その分気軽に参加することができました。授業内

容は北米での環境問題や環境保全への取り組み、また社会問題などでした。中でも永久凍土のあるアラスカの土地紹介や、そこでの持続可能な暮らしは日本とは異なり面白かったです。自分の専門では扱わない内容でしたが、この地球に生きる一人として環境について知り、考える機会になったことはとても貴重な経験でした。





新渡戸カレッジのフェロー制度 同窓生等によるキャリア教育

北海道大学は「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」の4つの基本理念のもと、国内外の様々な分野においてパイオニアやリーダーなどとして活躍する人々を輩出してきました。

こうした同窓生等のなかから選ばれた人々が「新渡戸カレッジフェロー」となり、新渡戸カレッジ生のキャリア教育に携わります。

新渡戸カレッジ生は、フェローによるゼミ（「フェローゼミ」・「セルフキャリア発展ゼミ」）、講演会、メンタリングプログラム（「対話プログラム」）などさまざまなプログラムを通してフェローの知見と経験に触れ、グローバル社会で貢献できる人を目指して成長する上での糧とすることができます。



新渡戸カレッジ生の皆さんへ フェローからのメッセージ

2013年に学部横断的な特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」が創設されてから9年、多くの卒業生が旅立ちました。「新渡戸カレッジ」は新渡戸稲造の国際性と豊かな精神性などを礎にして、北海道大学に相応しい、人間性に満ちた教育を実践しています。

アカデミアの外で活躍している多くのフェローはカレッジのプログラムの中心ではないかもしれませんが、彼らのこれまでの多様な経験や素晴らしい個人史などはカレッジに、そしてカレッジ生に大きなインパクトを与えています。また「新渡戸カレッジ」は世代間交流を通した一つの新しい教育実践の場です。

私はフェローゼミを担当しています。ゼミは教えるところではなく、学ぶところ、意見や考え方が違うゼミ生とフェローらが協働し意見を交わし問題解決へと繋げていくところです。そのプロセスが大変重要です。その中で個性を磨き、自分の目を育て、多様性に富んだ、そして国際社会で幅広く活躍できる新渡戸カレッジ生が育ちます。

また、フェローは教師ではありません。フェローも全人格をかけてゼミ生に対峙しているひとりの学び人です。フェローはアカデミズムに支えられた、アサーティブな学生を歓迎します。

テキサス大学公衆衛生大学院博士課程修了

北海道大学名誉教授・客員教授
一般財団法人エナジック教育福祉財団理事

玉城英彦 フェロー

